

町消防団で辞令交付式

昇格団員59人、新入団員30人

平成17年度「矢吹町消防団 辞令交付式」が4月3日、町文化センターで行われました。今回辞令を受けたのは小磯勇新団長ほか89人、野崎統監から辞令を受けた小磯新団長が、各分団の代表者それぞれに辞令書を手渡しました。

また、新入団員を代表して 區分優さん(第1分団第2部)の力強い宣誓があり、統監訓示、団長あいさつで式が締めくくられました。なお、交付式終了後、役場駐車場で規律・礼式訓練も行われ、団員のみなさんは新たな気持ちで訓練に取り組んでいます。



小磯新団長

田園のまちでさわやかな汗

第21回全町クリーン作戦

「第21回全町クリーン作戦」が4月17日、町民のみなさんや各団体、企業が参加して町内一斉に行われました。早朝から町のあちこちでは、可燃・不燃ゴミの回収や、堀さらいなどが行われ、集められたゴミは



各企業のトラックでリサイクルプラザ(白河市)へと搬入され、その後分別処理されました。集まったゴミはトラック46台分、延べ66トン。町民のみなさんの協力で、町はずっかりきれいになりました。



出発式で宣誓するボーイスカウトの子どもたち

町に「南極の氷」がやってきました!

町出身の砕氷艦「しらせ」乗組員からプレゼント

4月15日、三神小学校と矢吹中学校に貴重な南極の氷が届けられました。

これは、砕氷艦「しらせ」の乗組員藤井辰雄さんから母校である同校(昭和52年3月三神小学校卒業、昭和55年3月矢吹中学校卒業)に帰国の記念に贈られたもので、昭和基地の北北東オングル海峡の氷山から採取されたものだということです。

三神小学校では4月18日の朝、この氷が全校生徒へお披露目され、



「ふつうの水より冷たいよ!」

そのあと各クラスに分けられました。1年生のクラスでは、子どもたちが珍しい氷に触れながら、南極のロマンを肌で感じ取っていました。

安全・安心なまちづくりを

合同街頭啓発活動「テント村」実施

交通事故防止と犯罪予防を呼びかける合同街頭啓発活動「テント村」が4月8日、矢吹駅前内と駅前交差点で行われました。

今回の啓発活動には、町交通対策協議会や防犯協会などの関係者約50人が参加し、停車中の運転手や横断歩道を渡る歩行者、駅の利用者などにチラシや反射シールを配布しながら「自分の身は自分で守りましょう。」と呼びかけを行いました。



交通事故防止と防犯両面から啓発を行う「矢吹方式」も今回で3回目。事故や事件のない、安全・安心なまちづくり実現に向け、今後もさまざまな啓発活動を展開していきます。

好評です! 日曜日の窓口業務一部開庁

先月から試行で始まった日曜日の窓口業務一部開庁。毎月第2・4日曜の午前中に、町民生活課と税務課の一部業務を行うものですが、初日となった10日には22件の申請等がありました。

来庁したある男性は「仕事をしているので、以前は平日休みを取らないと来れなかったのですが、広報に出ていたので今回来てみました。サラリーマンにとっては最高ですね。」と話していました。



町民生活課では、住民票や戸籍関係などの証明書発行と印鑑登録業務、税務課では所得・納税証明書などの証明書発行と町税の納入業務を行っています。どうぞ、お気軽にご利用ください。

なお、5月の開庁日は5月8日(日)と22日(日)の午前中となっています。

